

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名: 福祉バス運行事業	2-27
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他) 複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)	1

担当部課 保健福祉部高齢者支援課	直通電話 72-6121
担当部長 鎌田 英 暢	担当課長 沢 田 茂 明
	担当者 大 浦 正 美

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	高齢者クラブや各種福祉団体等からの利用申込みを受け福祉バスの運行業務を行う。		
(2)事業開始年度	平成19年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2.健康であわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	社会参加の促進	
	施策コード	20202	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	高齢者の生きがいや社会参加を促進する。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	高齢者クラブ等福祉関係団体が企画した事業に利用するバスを運行する。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	四半期ごとに現在2台のバス利用受付を行い、バス運行表の調整を行う。運行については、H19.4.1.からH22.3.31まで民間に長期継続委託している。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	管理については、多目的バスとして利用し総務所管が集中管理をしていたが、H19に高齢者所管の管理になった。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20 予算
(1)直接事業費(千円)			17,996	16,451
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)			2,691	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	0	20,687	
事務に従事した正職員延べ人数			0.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20 予算	支	区分	H17	H18	H19	H20 予算
	市補助金等(A)										
入	計(B)	0	0	0	0	出	計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)				
活動指標名	H17	H18	H19	H20
福祉バス台数(台)	目標値		未設定	未設定
	実績値		4	
	達成率		-	
申込み件数(件)	目標値		未設定	未設定
	実績値		831	
	達成率		-	
	目標値			
	実績値			
	達成率			

6 事業の成果 (単位:千円・%)					
成果指標名		H17	H18	H19	H20
総利用人数(人)	目標値			未設定	未設定
	実績値			13,070	
	達成率			-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価 担当課長が評価します。					
(1) 必要性			(4) 有効性		
ア 市民ニーズ	1 大きい	2	ア 施策との関連	1 密接な関連がある	2
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通		事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある	
	3 小さい			3 関連はほとんどない	
イ 市の関与	1 行政にしかできない	2	イ 成果	1 すべて達成している	2
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる		事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している	
	3 民間等でやるべき			3 達成していない	
(2) 効率性			ウ 事業内容	1 極めて妥当	2
ア コスト削減	1 不可能である	2	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり	
コスト削減は可能か	2 難しい			3 妥当性が低い	
	3 可能である				
(3) 公平性			(1)～(4)の評価ポイント合計		15
ア 受益者負担	1 不可能である	3	総合評価の参考にご覧ください。		
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい		7～11	A or B	
	3 可能である		12～15	B or C	
			16～21	D or E	

8 課長評価 担当課長が評価します。		
(1) 平成19年度事業の総合評価		
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	高齢者クラブ等の利用により一定の成果は達成しているものと判断する。
(2) 今後の方向性・課題		
今後はバスの老朽化への対応も視野に入れつつ、民間バス事業との整合性を計りながら運行していく。		
(3) 平成21年度の方向性		
*:担当課長	事業内容	
	現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向	
	現状維持	*
	縮小方向	
	統合	
	休・廃止	

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。		
(1) 平成19年度事業の総合評価		
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	高齢者や障がい者、幼児まで幅広く団体利用されているほか、市内入浴施設への送迎など、適切に実施している。
(2) 今後の方向性・課題		
バス老朽化に伴う廃車など、保有台数が減少し、限られた台数での運行と利用ニーズとの調整が難しくなっている現状を踏まえ、今後の運行形態を見直す必要が出てきている。		
(3) 平成21年度の方向性		
:担当部長(もしくは市長)	事業内容	
	現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向	
	現状維持	
	縮小方向	
	統合	
	休・廃止	